



通信

HP 学校だより
R5.10.19
NO.24
文責 伊藤美佳



学区観劇会より

16日(月)に学区観劇会を実施しました。

演目は「オズの魔法使い」です。題名はよく知っているけど、内容までは…という方もいるかもしれません。ぜひ、子どもたちからストーリーをお聞きください。

子どもたちの中には、ストーリーを知らなかったという子もいたと思います。しかし、劇が始まると、演者の一挙手一投足を食い入るように見たり、台詞に対して言葉を投げかけたり、そんな光景をみることができました。主人公のドロシーが、落ち込んでいると、「がんばって」「あきらめないで」という励ましの言葉を、悪い西の魔女が出てきたら「気を付けて」「危ない」という声掛けを行っているのです。もちろん、主に低学年の子どもたちでしたが、見ている子どもたちをここまで虜にする劇団の方たちの演技と、それにまっすぐに反応できる豊坂っ子の素直さが垣間見られた時間となりました。こんな素敵な時間をくださった学区の皆様にご感謝申し上げます。

さて、「オズの魔法使い」で代表される「名作」と呼ばれる文学は、古くから多くの人々に読まれている物語です。その中には、人生の宝物となるような言葉や教えがちりばめられています。今回の劇中には、「知恵」がない「かかし」、「心」がない「ブリキ」、「勇気」がない「ライオン」が登場しました。オズの魔法使いに自分にはないものをもらうために旅に出ますが、最後には自分が欲しいものは自分で手に入れるしかないことに気づきます。

このように、お話の世界に浸ることで、多くのことを学ぶ機会を得ます。もちろん、劇を見たり、テレビを見たりして浸ることもよいですが、ぜひ、本を読んでほしいと思います。本を読むことで、文字からイメージを広げて想像の世界を広げることができます。言葉(語彙)が増えます。語彙が増えることで、自分で考えることができるようになり、人に伝える楽しさを味わうことができます。

豊坂小学校では、読書タイムを設けています。そこで、豊坂っ子が読書の楽しさを味わってくれることを期待します。また、その楽しさを表現できる学芸会において、役になりきって演じてくれる子どもたちの姿が見られることを楽しみにしたいです。

